

研究内容の説明文

献血者説明用課題名※ (括弧内は申請課題名)	献血会場外で発生する献血時副作用の特徴 (抜針後 20 分以上経過して発生する血管迷走神経反応の特 徴)
研究期間 (西暦)	2018 年 4 月 1 日～2019 年 3 月 31 日
研究機関名	東京都赤十字血液センター
研究責任者職氏名	付部長 石丸文彦

※理解しやすく、平易な文言を使用した課題名

研究の説明

1 研究の目的・意義・予測される研究の成果等

採血副作用のひとつである血管迷走神経反応 (VVR) は、まれに献血会場を離れた後に発生することがあります。この場合は転倒を伴うことが多く、重大な事故に繋がる可能性もあります。

本研究では休憩時間の目安となる抜針後 20 分以上経過して発生する VVR の特徴を明らかにします。献血会場外で発生する VVR の特徴を明らかにすることができれば、献血の安全性の向上が期待できます。

2 使用する献血血液等の種類・情報の項目

献血血液等の種類：なし

献血血液等の情報：性別、年齢、循環血液量、献血種別、採血時の VVR 有無、転倒の有無、抜針時刻

3 献血血液等を使用する共同研究機関及びその研究責任者氏名

共同研究機関はありません。

4 研究方法《献血血液等の具体的な使用目的・方法含む》

献血血液等のヒト遺伝子解析：■行いません。 □行います。

《研究方法》平成 27 年度に東京都赤十字血液センターで献血をされた方を対象として、本採血の抜針時刻と VVR 発生時刻との関係から、本採血中・休憩時間の目安となる 20 分以内・20 分以降に分類して VVR ならびに転倒の発生率を比較します。さらに、性別・年齢・循環血液量・献血種別等で、VVR の発生率に偏りがあるかどうかを検証します。なお、献血者の住所・氏名等、個人に繋がる情報は使用しません。

5 献血血液等の使用への拒否について

今回の研究対象は、東京都赤十字血液センターで 2015 年 4 月から 2016 年 3 月に献血された方に限定されます。採血時の献血者の様子、副作用の有無等の情報を今回の解析に使用されたくない旨のお申し出をされた場合、匿名化処理により個人が特定できない状態になるまでにお申し出された方の情報は一切使用いたしません。また、お申し出さ

れた方に何ら不利益が発生することはありません。

6 上記5を受け付ける方法

下記の問い合わせ先に、情報の利用について拒否する旨を申し出ください。

本研究に関する問い合わせ先

所属	東京都赤十字血液センター
担当者	石丸 文彦
電話	03-5272-3532
Mail	f-ishimaru@ktxs.bbc.jrc.or.jp